
昔の話(続・生き物がかり)

並盛りライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

昔の話（続・生き物がかり）

【Nコード】

N6741A

【作者名】

並盛りライス

【あらすじ】

佳代子はヒデにある疑問を持ち続けた。「生き物がかり」のその後を書いた作品。

（前書き）

この作品は「N6672A、生き物がかり」の続編の形をとっています。この話、単体でも読めますが、「生き物がかり」を先に読まれることを推奨します。

夕暮れの河原に、二つの人影があった。

「ひさしぶりだね、ヒデちゃん」

片方の女性が言った。

ヒデと呼ばれた男性は、だるそうに

「ああ、八年ぶりだよな」と言った。

「なんか雰囲気変わったよね」

「そおかあ？」

口調には棘がある。

空気は重い。

「いつ、こっちに帰ってきたの？」

「親父の葬式で昨日な…」

「えっ、お父さん亡くなったんだ！？全然知らなかった」

「言っていないからな」

冷めた表情は変わらない。

「君、ホントに変わったよね。昔はよくイジメられて泣いてたよね」

「八年だぞ。変わるだろ普通」

「違うよ、あなたが変わったのは時間が経ったからじゃない」

ヒデの表情は堅い。

「何がいいたいの？お前？」

女は遠くを見るような目をしている。

「昔、川辺でよく遊んだよね。そこで、コンクリートの割れ目に玩具隠したり。秘密基地とかいって……」

「そうだったかあ？覚えてねえよ」

遮るように声を荒げる。

「それに、お前そんなにオシャベリだったか佳代子？俺ら仲良かったっけ？」

佳代子はじつとヒデの顔を見た。

「覚えてないんじゃない？知らないんでしょ？」

「……」

「だってあなたは、ヒデちゃんじゃないんだから…」
沈黙の中で二人はお互いの目を睨んだ。

「あの日。早退した次の日からあなたは性格が変わったみたいに強
気になった。

いじめられる側からいじめる側に回った。

みんなと話す時も別人みたいだった」

ヒデが目をそらして含み笑う。

「そんなに俺は変わったか？」

「それだけじゃない…私のことを覚えてなかったのよ。ヒデちゃん
は私のことをカヨちゃんって呼んでた。でも、あなたは佳代子さん
って言ったのよ。」

「…」

「はじめは、ふざけてるのかと思ったけど。でも、私がさりげなく
二人しか知らない事を話しても、あなたは答えなかった。」

風が強くなって草木が揺れる。

「俺は、ヒデだ。朝野秀人だよ。昔の事を覚えてないくらいで偽物
扱いするのか？」

「…ソイツ…あなたはソイツなんでしょ？」

「なんだよ、お前にも話してやがったのか…てっきり友達なんか一人もいないと思ってたよ。」

ヒデは笑った。

「両親にも、友達にも嫌われて臆病で何も出来ないアイツを俺が救ってやったんだよ。おかげで楽しく愉快に暮らしてるんだぜ、俺が代わりにな。」

「本物のヒデちゃんはどうしたの？あなたが殺したの？」

「さあなあ、知らないなあ。どこかで野垂れ死んでるかもなあ。」

「あたしね、あれから三日後に秘密基地に行ったんだ。そしたら跳び箱の中に犬がいたの。何も食べてなくて、水もなくて衰弱しきっていたわ…ヒデちゃんが餌をやっているはずなのに……。」

佳代子は泣いた。そして、ヒデの顔をしたソイツを睨んだ。

「だったらどうする？俺が犬だって誰かに言ってみるか？」

草木がいつそう激しく揺れて二人の影の真ん中にもう一つの影ができた。

「そんなことしない…だってヒデはヒデだったもの…。それに、やっぱりあなたはいつまでも、どんな姿でも野良犬の嫌な臭いしかなないもの…」

佳代子はそれだけ言うと、一匹の賢そうな犬と一緒に河原を後にした。

とても毛並のいいおとなしそうな犬だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6741a/>

昔の話(続・生き物がかり)

2010年12月13日17時40分発行